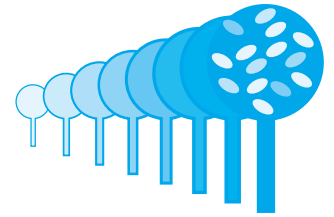


## 『学び』を通じた里山保全活動 柏原市学びの森づくり委員会



『里山の保全』『森づくり活動』『森林ボランティア』などの言葉がよく紙面をにぎわしていますが、生駒山系でも、たくさんの森林ボランティアがそれぞれのフィールドで保全活動を進めています。また活動内容も、森林・竹林整備にかかるものや森の恵(素材)を利用して生活に活かすものなど様々で、これらの活動に共通するのは、「森林について考えること」「楽しみを持って活動すること」などが挙げられます。そこで、ここでは「森林について考えること」を取上げてみます。森林についての考え方は人それぞれであり、この考え方で様々な活動に分かれていきます。では、この「森林についての考え方」はどうやって培われるのでしょうか。正確ではないですが、大きくは本やPC、TVなど他人の経験の集積による知識に基づくものと、少年時代の体験など自分の過去の経験に基づくものに大別できると考えられます。これらを比較して検討する必要はありませんが、誰もがそれぞれの思いの源(よりどころ)を持っていることは確かです。

生駒山系の各地では、都市化が進展する中で、林業など森林所有者による森林の維持活動が衰退している一方、森林の多様な機能(防災、水源確保、ヒートアイランド対策、大気浄化、レクリエーション等)の高度な発揮を求める声は大きくなっています。それとともに、地域住民や都市住民による森林の保全活用への参加は増加の傾向にあり、この傾向は、若年世代より高齢世代において顕著です。では、次世代を担う子供たちではどうでしょうか。森林について、自然環境について考える糧を持っているのでしょうか。

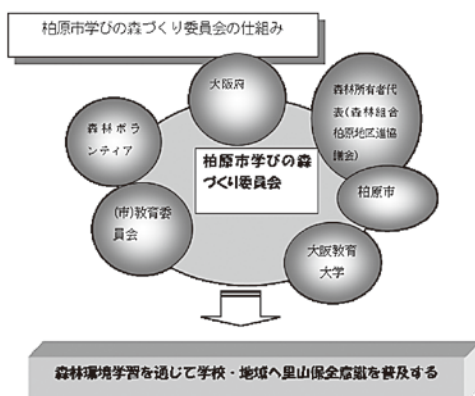
今回は、小学生を対象に里山保全の普及活動を始めている柏原市の森林体験学習を紹介します。柏原市では、平成16年



3月1日に【柏原市学びの森づくり委員会】が発足しました。この森づくり委員会は、次世代を担う子供たちや地域の人たちに自然を知り、大切にすることを育んでもらうため、①柏原市、②大阪教育大学、③柏原市教育委員会、④森林ボランティア関係者、⑤地元の土地所有者の代表である大阪府森林組合柏原地区推進協議会、⑥大阪府中部農と緑の総合事務所の参加により結成されています。結成の背景には、学校教育の中で児童自らが体験によって学ぶことのできる「総合的な学習」の時間が設けられたこと、大阪府中部農と緑の総合事務所と柏原市で、高尾山創造の森(府民参加の森)を活用した間伐や植栽などの林業体験活動を平成5年度から近隣の小学校を対象に進めてきた実績があることなどがあります。そして、この林業体験活動は、平成14年度からの大阪教育大学の参加により、樹木や森の働きについて学ぶ森林体験学習となり、年間を通じた活動として進められています。

活動は、小学校の総合的な学習の時間を中心に、教育大学の学生リーダー(ボランティア)の引率により高尾山創造の森で実施しています。学習プログラムには、森の発見に関するものや、土壌や葉っぱ・生きものの観察、植栽作業、木の生長を考える間伐作業などがあり、子供たちは様々な発見に驚いたり、興味を持つ機会となっています。

しかしながら、このような活動が地域に根づくためには、学校現場の先生の理解が必要となることや地域との連携、森林から離れている小学校での活用方法など多くの課題もあります。柏原市学びの森づくり委員会では、現在これらの課題の克服に向けて検討が進められており、今後が期待されることです。(大阪府中部農と緑の総合事務所 釜谷 聡)



### 2004年度大阪信愛女学院短期大学公開講座「環境総合研究所講座」ご案内

- 第1回 6月23日(木)「フェアトレードって何?—ビルマ・スリランカ・インドなど7カ国の事例をもとに」 フェアトレード・サマサマ事務局長 小吹 岳志 氏  
 第2回 9月10日(土)「高齢期の食生活を考える・—老化を遅らせる毎日の食事のポイント」 大阪信愛女学院短期大学教授 田中 順子 氏  
 第3回 9月17日(土)「高齢期の食生活を考える・—高齢者向けソフト食づくり実習」

大阪信愛女学院短期大学元教授 渡部 由美 氏 / 大阪信愛女学院短期大学教授 田中 順子 氏

開催時間：第1回：午後6時30分～8時、第2回：午後2時30分～4時、第3回：午後2時30分～5時 / 開催場所：第1回は大阪府立文化情報センター(中央区大手前)、第2・3回は本学鶴見学舎 / 申込み：往復葉書に「住所・氏名・年齢・電話番号・1講座名」を明記の上、大阪信愛女学院短期大学公開講座係(TEL 06-6180-1041)